

令和5年5月14日

補助教材作成審議委員会 統括部

## 1. 募集役職

正規委員（総合採用）

いずれかの部署とプロジェクトメンバーとして配置されます。

### 1. 常任部署

#### a. 統括部

AMP C全体を管理統括し、円滑に委員会活動が実施出来るようにする部署

#### b. 教材部

模擬テストや（簿記会計などの商業科目への理解を深めることを目的とした）学校での学習に準じた教材作成を担当する部署

#### c. 検定部

商業生検定試験の試験内容や出題形式に関する教材作成・検定合格に向けた教材作成を担当する部署

#### d. 総務部

AMP C内の事務的な作業を担当する部署

### 2. 商業生 Wiki

#### a. 全体管理チーム

本プロジェクトの進行等状況を常に把握して、円滑にプロジェクトが実施出来るように、各チームに対して的確に指示を出す。

#### b. サーバーチーム

MediaWiki で利用されるサーバーの管理を担う。具体的には、MediaWiki サーバー張機能の追加やサーバーメンテナンスなどを担当する。

#### c. Wiki 開発チーム

商業生 wiki のトップページ制作や、各種ページで利用されるモジュールやテンプレートなどを作成する。

#### d. コミュニティ運営チーム

商業生 Wiki を運営するにあたり、必要な規則やガイドライン(利用規約やプライバシーポリシー、著作権やページ作成ルール)を整備し、不適切な行為があれば処罰することを担当とする。

#### e. 進学関連情報チーム

進学に関する情報のページを確認・監査し、不適切・不正確な情報については加筆修正するなど、商業生 Wiki の進学関連情報に関する情報の質を担保することを担当とする。

#### f. 検定関連情報チーム

検定に関する情報のページを確認・監査し、不適切・不正確な情報については加筆修正するなど、商業生 Wiki の検定関連情報に関する情報の質を担保することを担当する。

#### g. 講義・検定解説チーム

検定関連情報チームと連携して、受験生が苦戦する論点の解説ページなどを作成・監修すると共に、検定過去問題の解説などを主として担当する。

なお、a～cは大学生のみの採用とする

## 2. 募集人数

若干名

## 3. 募集プロセス

① 採用説明会へご参加

② 令和5年度 補助教材作成審議委員会 委員公募応募フォームへ必要事項を記入

③ 審査・面接

・ 1次審査：書類審査

・ 2次審査：面接（統括部担当者による）

・ 3次審査：面接（統括部長による）<sup>(※1)</sup>

(※1) 3次審査は統括部への配属を希望された方や、こちらが必要と判断した方を対象に実施します。

④ 採用

#### 4. 求める人物像

- ① 補助教材作成審議委員会の「令和5年度 活動方針」に共感頂ける方
- ② コミュニケーションを円滑に問題なく行える方
- ③ 主体的に自ら行動することができ、報連相を問題なく行える方

#### 5. 求めるスキル

IとIIの両方を満たす必要があります。

I：下記の①～②のいずれかを満たす方

- ① 現役商業生、元商業生であり、四大・短大・専門学校等へ進学した、もしくは進学を希望していること。
- ② 簿記会計、情報処理、経済金融など、商業に関連する知識や技術に長けていること。

II：下記の①～⑤全てを満たす方

- ① 自己所有のパソコンがある方。
- ② 毎週の定例会に原則として参加出来る方。
- ③ 高校生以上であり、過去に商業生検定の受検経験がある方。
- ④ 統括部が指定するプラットフォームのアカウントを作成し、利用出来る状態にできる方。
- ⑤ 補助教材作成審議委員会が指定する検定資格を取得していること。

#### 6. 募集期間

令和5年5月17日 ～ 終了未定

#### 7. 試験及び採用日

随時実施

(別紙1) 補助教材作成審議委員会が指定する検定資格

補助教材作成審議委員会に応募する者は、下記に指定する条件のうち、いずれか1つを満たさなければなりません。

<全国商業高等学校協会>

下記に示す資格を3種類以上取得していること。

- ① ビジネス計算実務検定試験 1級<sup>(※1)</sup>
- ② 簿記実務検定試験 1級<sup>(※2)</sup>
- ③ ビジネス文書実務検定試験 1級<sup>(※2)</sup>
- ④ 英語検定試験 1級
- ⑤ 情報処理検定試験 ビジネス情報 1級
- ⑥ 情報処理検定試験 プログラミング 1級
- ⑦ 商業経済検定試験 1級
- ⑧ 財務諸表分析検定試験
- ⑨ 財務会計検定試験
- ⑩ 管理会計検定試験

(※1) 計算機器(電卓・算盤)の種類は問わない

(※2) 部門1級合格は認めない

<全国工業高等学校長協会>

下記に示す資格を1種類以上取得していること。

- ① 情報技術検定試験 1級<sup>(※1)</sup>
- ② 情報技術検定試験 2級<sup>(※1)</sup>

(※1) 言語選択の種類は問わない

<日本商工会議所>

下記に示す資格を1種類以上取得していること。

- ① 日商簿記検定試験 1級
- ② 日商簿記検定試験 2級
- ③ リテールマーケティング(販売士)検定 1級
- ④ リテールマーケティング(販売士)検定 2級
- ⑤ リテールマーケティング(販売士)検定 3級

<全国経理教育協会>

下記に示す資格を1種類以上取得していること。

- ① 全経簿記能力検定 上級
- ② 全経簿記能力検定 1級

<経済産業省>

下記に示す資格を1種類以上取得していること。

- ① 基本情報技術者試験
- ② 応用情報技術者試験
- ③ ITストラテジスト試験
- ④ システムアーキテクト試験
- ⑤ プロジェクトマネージャ試験
- ⑥ ネットワークスペシャリスト試験
- ⑦ データベーススペシャリスト試験
- ⑧ エンベデッドシステムスペシャリスト試験
- ⑨ ITサービスマネージャ試験
- ⑩ システム監査技術者試験
- ⑪ 情報処理安全確保支援士試験

<日本FP協会・金融財政事情研究会>

下記に示す資格を1種類以上取得していること。

- ① ファイナンシャル・プランニング技能検定 1級
- ② ファイナンシャル・プランニング技能検定 2級
- ③ ファイナンシャル・プランニング技能検定 3級

<日本英語検定協会>

下記に示す資格を1種類以上取得していること。

- ① 実用英語技能検定 1級
- ② 実用英語技能検定 準1級
- ③ 実用英語技能検定 2級